ハッとする瞬間 2017年4月30日

ルカ24:13-35 牧師　安達均

主と恵みと平安が集まりました会衆の心に豊かに注がれますように。

現代はいったいどういう時代なのだろうか。とくに去年あたりから、世界のいろいろな地域で分断がおこっている。

昨年のアメリカの大統領選挙がどういう状態をもたらしているかは皆さんもよく知るところだ。それ以前に英国がわずかな票差でEUを抜けることを可決した。いまフランスも大統領選挙の真っ最中だが、残った二人のうち一人は強力なEU離脱支持者だ。

シリアの状勢も北朝鮮の状勢も、世界が気にしており、またとりまく国々の対応の仕方については異なっている現状がある。世界がばらばらになっていくような感覚は否めない。

二人のイエスの弟子がエマオに歩いて向かっている途中で起こったことが今日のテキストの内容だ。この箇所は私は読むたびに何か気になることが毎回違ってくるような面がある。とくに今年私は、この二人の弟子はそもそも、なぜ他の弟子たちから離れて行ったのかが気になっている。

そういえば、先週の日曜日はトマスも、イエスの十字架刑があってから３日目の夕方は、他の弟子たちから離れていたことは確かだ。　コミュニティがばらばらになっていっていたのだと思う。　イエスの十字架刑、死、そして埋葬は、弟子たち一人一人を、弟子たちのコミュニティから離脱して行動するべきかどうか迷わせていたのだろう。

その一つの事例が、今日の二人の弟子の話だ。　イギリスがはやばやとEUの離脱を決定したように、クレオパともう一人の弟子は英国みたいなものかもしれない。彼等は、一抜けたとばかりに、他の弟子たちとは別れ、せっせとエマオへの道を歩んでいた。

すると復活の主イエスが横に並んで歩きだす。しかし、彼等はイエスが横に並んでもそれがイエスだとはわからない。　実はおなじことが私たちに言えるのではないだろうか？　今日イエスが私たちの身近にいてくださったとして、それがイエスだとどうして私たちはわかるのだろうか？

とにかく二人の弟子とイエスの会話が続く。　そして、イエスは、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることまで説明する。それはほとんど答えを言われたようなものだ。　弟子たちは、それでもいっしょにいてくださる方が救い主だとは気がつかない。

しかし、弟子たちの心は熱くなってきて、イエスへの親近感をおぼえ、宿に泊まるときには、わかれてしまうのではなく、「いっしょにいてください。」と願う。　そして、食事のとき、パンをとり、感謝してそれを裂き、弟子たちに与えるイエスの姿に、ハッとする。

まさにイエスに出会うという、めからうろこが落ちる瞬間をあじわう。その瞬間の出来事が彼らの行く先を完全に変えてしまう。彼らはエマオに向かっていたのだが、180度方向を変えてエルサレムに向かいはじめる。弟子たちと別れてしまう予定だったが、他の弟子たちとまたいっしょになるため。

今日の聖書の箇所を通して、神は私たちに何を伝えているのだろう。この言葉は、ルカではなくマタイ福音書に書かれていた言葉だが、イエスは「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」と語っていた。

わたしたちの間で、主イエスはすでにおられるが、ただ気がついていないことがあまりに多いということではないだろうか。しかし、ひとたび、復活の主との出会い、その存在に気づくとき、ばらばらになろうとしていたコミュニティが、結束力を回復することが起こるということを私たち習っているのではないだろうか？

同じ質問になるが、私たちはイエスが近くにいてくださったときに、何をもってイエスの存在を認識するのだろうか。　ヨハネ20章の前半では、復活日当日の朝、マグダラのマリアは背後におられたイエスの存在が、それがイエスだとはわからなかった。　しかし、イエスから「マリア」と語りかけられ、イエスの存在を認識した。

また、先週はイエスの両手とわきばらの傷によって、弟子たちは復活のイエスと会っていることに気がついた。それは彼らがイエスと気がつくサインだった。そして今日の福音書箇所では、二人の弟子は、イエスのパンを裂く行為によって、突然イエスに会っていることに気づいた。

パンを裂く行為は、イエスが5000人の人々への給食の際にも行われていた。　また十字架に架かる前の木曜の晩に、最後の晩餐の食卓において、イエスがパンを取り、感謝して、それを裂いたとき、「とって食べなさい、このパンが私の体である。自分の記念のために、これを行いなさい」と話された。そこには深い意味と力があるのだと思う。

私たちが聖壇に近づいてパンとぶどう酒、つまりイエスの体とパン、にあずかろうとするとき、二人の弟子たちに起こったように、私たちにも同じ感情が起こっていることが多いのだと思う。　そしてその不思議なハッとする瞬間が壊れそうなコミュニティを、神の意思に従って、強力な神の国へと変貌させることができる。

世界がばらばらになりそうだと感じられる時代だが、世界各地で、さまざまな人種間で、人々が救い主の存在に気づくハッとする瞬間が訪れるように祈りたい、そして、父と子と聖霊の恵みと導きにより、同じ地球にすべての民が住んでいることを認識し、その結束力を強めることができますように。アーメン